

Press Information

2018年11月6日

「EICMA2018(ミラノショー)にて SHOWA EERA®シリーズの新たな技術を発表」
～ステアリングダンパーと車高調整、2つの独自技術で電子制御ラインナップを拡充～

株式会社ショーワ(本社:埼玉県行田市/社長:杉山伸幸)は、イタリア・ミラノで開催される世界最大のモーターサイクルショー「EICMA2018」*において、二輪車用電子制御技術『SHOWA EERA®(Electronically Equipped Ride Adjustment) <ショーワ・イーラ>』シリーズの新たなラインナップとして『SHOWA EERA® Steering <ショーワ・イーラ・ステアリング>』と『SHOWA EERA® HEIGHTFLEX <ショーワ・イーラ・ハイトフレックス>』を発表しました。

*プレスデー:2018年11月6日～7日、一般公開日:11月8日～11日

ショーワの二輪車用部品部門は、世界最高峰のモータースポーツ(スーパーバイク世界選手権(以下 WSBK)/ダカールラリー/モトクロス世界選手権/世界耐久選手権(以下 EWC))にて培ったノウハウをフィードバックした量産フロントフォーク、リヤクッションを開発・生産し、世界の主要二輪メーカーへ供給しています。

昨年のミラノショーでは、『SHOWA EERA®』シリーズ第一弾として、電子制御式減衰力可変ダンパー『SHOWA EERA® Balance Free Damping Force <ショーワ・イーラ・バランスフリー・ダンピングフォース>』の Kawasaki Ninja ZX-10R SE 向け量産化を発表しました。

それに続く『SHOWA EERA®』シリーズの新たな電子制御技術として、本日より公開の2つの新技術は、いずれも『SHOWA EERA® Balance Free Damping Force』の電子制御式油圧バルブを応用したショーワ独自技術です。

電子制御式ステアリングダンパー『SHOWA EERA® Steering』は、無段階制御可能な電子制御式油圧バルブを減衰力発生部に使用することで、高い応答性と幅広い減衰力可変特性を実現しました。また『SHOWA EERA® HEIGHTFLEX』は、セルフポンピング機能と、オイルの供給量を制御する電子制御式油圧バルブを組み合わせた、世界初の電子制御式車高調整技術です。

ミラノショー会場では、これらの新技術をデモ機で体感いただけるほか、「Performance. Pleasure. Progress.」をテーマに、ショーワ製品を搭載した WSBK、EWC のチャンピオンマシンの展示から、ショーワ独自の技術を取り入れたオプションパーツ、各種製品ラインナップを紹介しています。今後とも、ショーワは独自技術の開発をベースに、さらに充実した製品を積極的に展開してまいります。

<本件に関する EICMA 会場でのお問い合わせ先>
株式会社ショーワ

管理本部 総務部 総務・広報課 檜崎 悦子 / TEL: +81-80-3556-9083
株式会社オズマピーアール 松本 / TEL: +81-80-5896-5916 E-mail: showapr@ozma.co.jp

出展テーマ

「Performance. Pleasure. Progress.」

ショーワは、ユーザーの皆様にご「気持ち良く楽しい移動」を提供するため、一貫して性能へのこだわりを持って技術開発をしています。本年の出展においても「Performance (性能). Pleasure (楽しさ). Progress (進化).」をテーマに、ショーワ製品の性能コンセプト「究極の気持ち良さと楽しさ」を提供する製品を紹介いたします。

技術概要

『SHOWA EERA® Steering<ショーワ・イーラ・ステアリング>』

高い応答性と幅広い減衰力可変特性を実現した、電子制御式ステアリングダンパー

<技術特徴>

減衰力発生部に『SHOWA EERA® Balance Free Damping Force』と共通の電子制御式油圧バルブを採用し、減衰力の高応答性ととも、幅広い可変特性を実現しました。それにより、外乱制振効果に加え、操舵特性の改善も可能となり、オンロードからオフロードまで操縦安定性を向上しました。また、車速情報だけでなく、慣性力計測ユニット(IMU)からの情報を用いて正確な車体状態を把握する事により、さらに上質な操縦安定性を提供します。

本技術は、基本機能の検証が完了し、完成車メーカーのニーズに応じて量産開発をスタートできる段階です。

ミラショーでは、ボタン操作で減衰力を可変でき、操舵フィーリングを体感いただけるデモ機を用意しています。

『SHOWA EERA® HEIGHTFLEX<ショーワ・イーラ・ハイトフレックス>』

あらゆるモデルに適応が可能な、電子制御式車高調整技術

<技術特徴>

車高が高いアドベンチャーモデルの課題となる、不整路面での走破性と足着き性という相反する2つの要素を両立するために開発しました。セルフポンピング機能と、オイルの供給量を制御する電子制御式油圧バルブを組み合わせた、世界初の電子制御式車高調整技術です。車両停止時には自動的に車高を低くし足着き性を大幅に向上させます。走行中はライダーの体重や積載量に関わらず車軸姿勢を自動的に最適化します。モーターを使用しないため、軽量、小型、省電力、低コストが可能です。

本技術は、アドベンチャーモデル、ツーリングモデルとの相性がよいのはもちろん、あらゆるモデルに適応が可能です。

ミラショーでは、本技術を Honda CRF1000L Africa Twin に搭載したデモ機で体感いただけます。

*詳細は別途技術資料をご参照ください

その他のブース展示マシン・製品技術

<展示マシン>

- ・『BFF™』『BFRC-lite™』搭載 「Kawasaki Ninja ZX-10R」(2018WSBK シリーズチャンピオンマシン)
- ・『BFF™』『BFRC-lite™』搭載 「Honda CBR1000RR SP2」(2017-2018EWC シリーズチャンピオンマシン)
- ・『GP シリーズ A-Kit』 搭載 「KTM 450SX-F」

<展示製品・技術>

量産技術

- ・Kawasaki Ninja ZX-10R SE 用 『SHOWA EERA® Balance Free Damping Force』 BFF™/BFRC-lite™』
- ・Kawasaki VERSYS 1000 SE/Ninja H2 SX SE+用 『SHOWA EERA® Cartridge Damping Force』

オプション製品

- ・KTM450SX-F 用 『GP シリーズ A-Kit』
- ・Kawasaki Ninja ZX-10R 用 『BFF™ Premium Upgrade Kit/BFRC-lite™ Premium Upgrade Kit』

この他にも、レース技術や量産ラインナップをご紹介します。